



白石地区の紫陽花【撮影/辻田邦榮】

担ぎ手
募集

山口祇園祭 神輿担ぎ手募集

山口を代表する伝統の祭りに参加してみませんか。

スケジュール

- ①7月20日(月・祝) 御神幸(往路)** 白石地域交流センターにて
17:00~ サラシ巻き(巻き方を指導します。)
21:00 お旅所(駅通り)着、交流センター集合、直会開催後解散
- ②7月27日(月) 御還幸(復路)** 白石地域交流センターにて
17:30~ サラシ巻き(巻き方を指導します。)
21:30 八坂神社着、交流センター集合、直会開催後解散

身支度 白色の半股、または半パン着用
白色の運動靴(できるだけ)、または祭礼用白色地下足袋
※裸坊につき、上着は着けずにサラシを巻きます。

- 申込先** お住まいの自治会(町内会)
- お願い** サラシは支給します。
(過去に担ぎ手に参加された方は、経費削減のため、お手持ちのサラシを使用してください。)

荷物預かり(~22:00)
着替えた服等を入れる袋をご持参ください。

主催：白石地区自治会連合会 後援：白石地区地域づくり協議会 **実** ふるさとまつり参加促進

参加者
募集

救命講習会受講者募集

普通救命I(3時間コース)の受講者を募集しています。心肺蘇生法、AEDの使用方法及び止血法などを学習します。普通救命講習Iの修了証を交付します。※防災士資格取得のためには、普通救命講習Iの提出が必要となっています。

- 日時** 6月7日(日)
9:00~12:00
- 場所** 白石地域交流センター
- 締切** 6月2日(火)
- 定員** 先着20名
- 主催** 白石地区自主防災活動参加促進実行委員会
- 問合せ** 実行委員長 柳井 義途 ☎ 090-3634-1196
- 申込先** 白石地区地域づくり協議会 ☎ 941-5959



昨年の様子

参加者
募集

春季 グラウンド・ゴルフ大会開催!

主催 白石地区スポーツ協会
後援 白石地区地域づくり協議会
社会体育部会

- 日時** 6月13日(土) 午前9:00~
【雨天中止(小雨決行)】
- 場所** 白石小学校グラウンド
- 申込締切** 6月8日(日)
- 申込先** 白石地区地域づくり協議会
(TEL 941-5959)
- その他** 運動できる服装と靴でご参加ください。
帽子、飲み物、タオル、滑り止め手袋をご用意ください。
道具はこちらで用意します。



実 グラウンド・ゴルフ参加促進

ご報告
5/2(土)

山口駅前ロータリーの清掃&手振りでのお出迎えをしました!

「やまぐちえき」応援イベント実行委員会の皆さんを中心に、山口駅の駅前ロータリー周辺の清掃を行いました。その後、ホームにて多くの子どもたちとともにSLやまぐち号のお出迎えとお見送りをしました。短い時間でしたが、乗客の皆さんと手を振り合い、楽しいひと時を過ごすことができました。

次回の手振りは8月1日(土)を予定しています。多くの方のご参加をお待ちしております。



※ 誌面中に登場する**実**は、実行委員会を意味しています。活動にご興味のある方は、弊会までお気軽にご連絡ください。

山口の歴史よもぎ話 古賀信幸

第32回 山口と大内氏21 - 大内版について

大内氏が行ったとされる文化事業の一つに「大内版」と言われる典籍の刊行（大内氏領国内で行われた出版）があります。「大内版」は、盛見の出資にかかる「蔵乘法数」（応永17年〔西暦1410年〕、仏教の教義や諸法を分類し、一心、二教等と数によってまとめた書物）が、現存する最古の事例です。

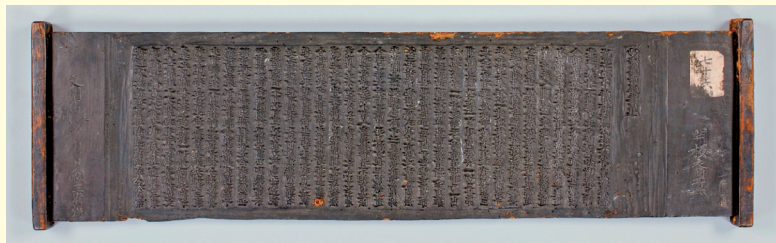
盛見の孫である政弘の時には、明応2年（1493）に「聚分韻略」（漢詩用の辞書）が出版されています。政弘の孫の義隆は、天文8年（1539）にこれを小型化したものを新刻再板（板木をあらためて彫り直し発行）しています。また、家臣で豊前国守護代を務めた杉武道は、明応8年（1499）に正平版「論語」の双跋本（貞治3年／正平19年〔1364〕に泉州堺で出版されたもので、足利学校や宮内庁書陵部に現存する）を覆刻しています。このように当主にかかわるものだけでなく、家臣も出版を行っていました。

右の画像は、大内氏の氏寺である氷上山興隆寺で開板（開版）された法華経板木の一つです。板木は、全部で59枚あります。そのうち55枚が、政弘が当主であった文明14年から延徳2年（1490）にかけて興隆寺の塔頭宝浄坊の僧宥淳を願主として開板されたもので、残りの4枚は、大内氏滅亡後の元亀3年（1572）から天正6年（1578）にかけて、同寺心蓮坊の重映を願主として補刻したものです。

板木はサクラ材を用い、表裏の両面に経文を彫刻していますが、うち2枚は片面のみに彫刻されています。板木の形状から卷子装（巻物）に仕上げることを想定していたようです。板木の左右両端には把手が付いていますが、その多くは後補です。

願主の宥淳は、「興隆寺文書」（山口県文書館蔵）文明18年（1486）2月13日付の「多々良亀童丸（大内義興）氷上山上宮社参目錄」にその名が見え、また補刻分の願主重映は、周防国分寺蔵の興隆寺関係文書の中に永禄13年（1570）6月23日付の書状等が残されており、当時の活動を確認することができます。

このように古い板木が一括して現存する例はほかになく、当時の大内氏領国の文化水準を示すとともに、地方の出版状況を物語る全国的にも数少ない資料です。なお、この板木は大正4年（1915）に当時の山口図書館の所蔵となりますが、その後は山口県文書館に移管され、平成10年（1998）6月、重要文化財に指定されました。



大内版法華経板木 画像提供 山口県文書館

参加者募集

令和8年度 白石歴史探訪の会イベント開催予定

※要申込

歴史講演会

R8.6.27(土) 13:30~15:00

演題 「明治維新と山口御屋形」

講師 山口博物館学芸員
山田 稔 氏

場所 白石地域
交流センター 講堂



史跡巡りウォーク

R8.6.29(月) 9:00~12:00

場所 学都山口の謎解き巡り
講師 毛利愛好会 代表 石川和朋 氏
集合場所 一の坂川交通交流広場
定員 20名程度



申込先 白石地区地域づくり協議会 (TEL 941-5959)